

<h2>ソフトウェア バージョンアップのご案内</h2> <h3>SW1A形 Automation Organizer (WindLDR)</h3>
--

SW1A形 Automation Organizer (WindLDR) のバージョンアップについてご案内いたします。

実施時期

2014年9月上旬予定

WindLDR 最新版 ver7.20 (Automation Organizer ver2.4) へのバージョンアップ用ファイルは9月上旬に弊社ホームページにて公開予定です。

⇒ <http://www.idec.com/jpja/ao/dl/>

※ダウンロードには「IDEC メンバサイト」へのログインが必要となります。

対象製品

SW1A形 Automation Organizer Ver.2.40～ (WindLDR Ver.7.20～)

製品形番：SW1A-W1C

※上記バージョンの WindLDR をご使用される場合、以下の PLC が対象となります。

FT1A形 SmartAXIS

製品形番：FT1A-*24*、FT1A-*40*、FT1A-*48*

変更内容

- ① WindLDR で FT1A 形 SmartAXIS の接続設定を行う際の、メンテナンス通信サーバーのローカルホストポート番号の初期値を変更いたします。

ファンクション設定

コネクションのパラメータを設定します

番号	通信モード	
1	メンテナンス通信サーバー	TCP 設定
2	メンテナンス通信サーバー	TCP 設定
3	メンテナンス通信サーバー	TCP 設定

メンテナンス通信サーバー

ローカルホストポート番号: 2101

受信タイムアウト(ms): 2000

アクセス許可IPアドレス: 0.0.0.0

デフォルト(D) OK キャンセル

設定ボタンをクリックすると、ダイアログが開きます。

メンテナンス通信サーバーのローカルホストポート番号（初期値）

	旧仕様	新仕様
コネクション1	2101	2101
コネクション2	2102	2101
コネクション3	2103	2101

本仕様変更により、3 つのクライアントから同じポート番号（2101）でメンテナンス通信を行うことができるようになり、クライアント別にポート番号を変更する必要がなくなります。

- ② *WindLDR で FT1A 形 SmartAXIS のコネクション設定を行う際、ユーザー通信サーバーのローカルホストポート番号の初期値をメンテナンス通信サーバーのローカルホストポート番号の初期値と重複しない値に変更いたします。

ユーザー通信サーバーのローカルホストポート番号（初期値）

	旧仕様	新仕様
コネクション1	2101	2102
コネクション2	2102	2103
コネクション3	2103	2104

本仕様変更により、初期設定でコネクション1 をユーザー通信サーバーに設定し、コネクション2 をメンテナンス通信サーバーに設定した場合、コネクション1 とコネクション2 のローカルホストポート番号が 2102、2101 となり、ポート番号の重複がなくなります。